

ホームページへの掲載	
済	平成28年2月25日

岐阜県立池田高等学校

学 校 長 野畑 伸芳
学 校 住 所 揖斐郡池田町六之井242-1 電話 0585-45-7755

- 1 会議の名称 平成27年度岐阜県立池田高等学校評議員会（第2回）
- 2 会議の構成 委 員 飯田 静世 子育てボランティア団体代表
西川 菊雄 池田町上田区長
川瀬 あゆみ 元池田高等学校育友会役員
小林 月子 サンビレッジ国際医療福祉専門学校長
堀尾 正之 イビデン神戸事業場
(五十音順)
- 学校関係者 西川 昭 育友会会長
学校職員 野畑 伸芳 校長
鈴木 健 教頭
田中 耕二 事務長
楠井 徳之 教務主任
大橋 隆男 生徒指導主事
寺田 等 進路指導主事
- 3 会議の目的 学校運営等について地域住民から幅広く意見を聞き、地域社会からの支援・協力を得て、開かれた特色ある学校づくりを推進する。
- 4 会議の開催 平成28年2月12日（金） 12:30~14:30 池田高校校長室
委員5名のうち4名と、学校関係者1名、学校職員6名が出席
- 5 会議の概要

- (1) テーマ 「生徒一人一人を大切にする活力あふれる学校をめざして」
- 池田高校の取組の成果と課題
 - 今後の池田高校のあり方について

意見1 県内公立高校初の「ユネスコスクール」というのは、池田高校の目玉の1つでもある。是非、積極的なPRをお願いしたい。

意見2 池田高校は、新しい良いものに積極的に取り組んでいる。これからの社会は、個々の生徒に選択する力が要求されてくる。良い生徒が多いので、積極性を持って取り組んで欲しい。

意見3 地域は人口減少や空き家の増加などが目立っている。池田町が進める「地方創生」の事業に高校も積極的に参加していただきたい。科学部の生徒のハリヨの保護活動への参加は良いと思う。また、地域の人から池田高校の男子生徒が積極的に挨拶してくれて感動したとの声を聞いており、非常に良いことだと思っている。

意見4 ボランティア活動については、生徒諸君には、活動の結果、地域が良くなっているという実感を持ってやって欲しい。

意見5 選挙法の改正により、選挙権が18歳以上になった。高校での主権者教育の必要性が高まっているが、高校でどのように教えるのか考える必要がある。

意見6 生徒の登下校の姿について、同じ勤務先の同僚から、池田高校の生徒の中で、スマホをしながら自転車に乗っている生徒がいると聞いた。危険なので指導をしていただきたい。

意見7 危機管理については、東日本大震災の時など随分取り組まれたが、最近大きな災害がないので、気持ちがゆるむ可能性もある。災害はいつ起こるか分からないので、再度危機対応について確認をしていただきたい。

6 会議のまとめ

今年度、ユネスコスクールへの加盟が承認された池田高校が進めるE S D (Education for Sustainable Development=持続可能な開発のための教育)は、これからの池田高校の教育の軸になる。今年度、E S Dの理念のもとで様々な具体的な取組みが始まったが、評議員の方々からは積極的な評価や応援のご意見をいただくことができた。

外部の方々からの様々なご意見を参考に、地域の願いを踏まえた学校の果たすべき役割を考え、生徒の安全等にも配慮しながら、教育活動全般を見直していきたい。